

目次

概要

[TMS のシステムは H.323 エイリアスを呼出す選択を与られません。これは、なぜですか。](#)

関連情報

概要

この技術情報は Cisco TelePresence 管理スイートに関連しています。

Q. TMS のシステムは H.323 エイリアスを呼出す選択を与られません。これは、なぜですか。

A. 作ることはエイリアス (E.164 数、URI または H.323 ID) に H.323 呼び出しを、TMS システムに (エンドポイントや MCU) IP 帯域幅があり、H.323 ゲートキーパーに登録されていることを確認する必要がありますスケジュールしました。 これを確認するため:

1. IP 帯域幅をチェックして下さい:**システム > ナビゲーター**に行って下さいシステムを選択して下さい。 [Setting] をクリックします。 **コール設定**ペインでは、最大 IP 帯域幅が大きいよりこと 0 を確認して下さい。 (そうでなかったら、必要なアクセス許可があり、『Edit Settings』 をクリックし、帯域幅を入力し、『SAVE』 をクリックし。)
2. ゲートキーパー ステータスをチェックして下さい:**ゲートキーパー** の登録ステータスが登録されているように**まだ設定で、ネットワーク設定** ペインで、して下さい。 (そうでなかったら、登録して下さいそのシステムを与えられる手順に従ってゲートキーパーにシステムを。)

ルーティングではスケジュールされた呼び出しは、TMS 呼出される数が既知管理されたシステムに解決することができるようにするためにゲートキーパー近隣チェックを行います。 TMS は TMS データベースのリモートシステムのゲートキーパーを調べ、要求システムのゲートキーパーアドレスに対してそれをチェックします:

- それらが同じである場合、システムは互換機とみなされ、エイリアスダイヤルは許可されません。
- それらが同じでなければが、ゲートキーパーが TMS によって管理されれば、TMS は各ゲートキーパーがあるように定義される相手を確認し、2 人のゲートキーパーが互いの相手としてリストされていれば、エイリアスダイヤルは許可されます。 (この近隣ゲートキーパーチェックをディセーブルにするため、**管理ツール > 設定 > 会議設定**に行けば高度会議オプション セクションで使用平らな E164 ダイヤリングプランのために時ルーティングコール 『Yes』 を選択して下さい) 。
- ゲートキーパーが直接相手ではないが、要求システムの IP ゾーンおよび宛先 システムが両方定義される URI ダイヤルドメインを備えている場合 TMS は形式 alias@URIdomain を使用して呼出すことを割り当てます。
- ゲートキーパーが異なり、それからの相手である場合、デフォルトで、TMS はエイリアスに直接ダイヤルでき、エイリアスによってダイヤルすることを割り当てないと仮定できません。

コールをスケジュールリングを使用して試みるとき、両方のシステムの TMS スケジュールリング設

定は（また設定で）また考慮に入れられます。（各コールプロトコルのために2つの「割り当て権限」があります: 「割り当て権限」が各システムの適切なコールの方向/プロトコル 組み合わせのために与えられない場合送信コール。） TMS の着信コールのための1つおよび他はコールルートを提供しません。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)